

久留米市のあゆみ【昭和】

昭和 2 年	久留米市職業紹介を開設
昭和 3 年	久大線久留米～吉井間開通 筑後軌道の電車廃止 九州医専(久留米大学の前身)を開設
昭和 4 年	市庁舎新築落成 上水道通水式
昭和 5 年	市公会堂が開館する 日吉町新天百貨店大火災、映画館および店盛 46 戸全焼
昭和 6 年	日本足袋タイヤ部が独立しブリヂストンタイヤが設立される 体育協会が設立 (満州事変おこる)
昭和 7 年	久留米市誌を発行 豆津橋(鉄筋)が完成 旧電車通りを明治通りと命名する (5・15 事件・上海事変おこる)
昭和 8 年	市じんかい焼却場を建設 (国際連盟より脱退)
昭和 9 年	久大線全線が開通
昭和 10 年	水害 瀬下最高水位 7.15 メートル
昭和 11 年	(2・26 事件おこる)
昭和 12 年	旭屋デパート(久留米井筒屋前身)が開店 陸軍 18 師団が再編成される
昭和 13 年	市立図書館(城南町)を開設 市常備消防本部を設置
昭和 14 年	国立久留米高等工業学校が開校 保健所に西町が新設される 消防組を警防団に改編する 陸軍墓地の建設に着手する
昭和 15 年	神代橋が完成する

昭和 16 年	小学校を国民学校と改称 市設卸売市場を開設 米穀配給制 (太平洋戦争おこる)
昭和 17 年	九州鉄道が西日本鉄道に改名する 陸軍墓地がしゅん工する (関門トンネル開通)
昭和 18 年	三井郡御井町と合併
昭和 19 年	省線(現 JR 九州)鹿児島本線、筑後川鉄橋複線が開通 保健所が原古賀病院内に移設される (学徒動員)
昭和 20 年	8 月 11 日空襲、市都心部の 70 パーセントが焦土と化す、罹災戸数 4,506 戸・災死者 212 人 国立久留米病院が発足 (ポツダム宣言受諾)
昭和 21 年	市農地委員会、市選挙管理委員会を設置 九州医専が久留米医科大学に昇格する
昭和 22 年	普通選挙により、市長岡幸三郎、県知事杉本勝治当选 久留米職業安定所を設置
昭和 23 年	久留米空襲により焼失した国鉄久留米駅がしゅん工する 市警察、市消防本部および消防署が発足
昭和 24 年	市競輪場がしゅん工する
昭和 25 年	県立筑後川公園指定 久留米大学が設立される 第 7 回国政調査、21,161 世帯、100,997 人
昭和 26 年	三井郡合川村・上津荒木村・山川村・高良内村と合併 高良内財産区を設置
昭和 27 年	久留米市教育委員会が発足
昭和 28 年	6 月 26 日大洪水、瀬下水位 9 メートル・浸水家屋 9,857 戸・罹災者 47,885 人、死者 5 人(筑後川三大水害)

昭和 29 年	九州朝日放送(株)KBC ラジオが放送開始 三本松公園に動物園付設
昭和 31 年	石橋正二郎氏の寄贈による石橋文化センターは開園する 市内で最初の交通信号機が六ツ門交差点に設置される 市内で最初のスーパーマーケット(そごうストア)が開業する (国際連盟加盟)
昭和 32 年	東京日比谷公園にて久留米つつじ市を開催 石橋正二郎氏市長公舎および小学校 13 校分のプールを寄附
昭和 33 年	三井郡宮ノ陣村・山本村と合併 西鉄福島線が廃止される
昭和 35 年	三井郡草野町と合併 国民年金制度が発足 石橋正二郎氏の寄贈により有馬記念館が開館する 倉田泰蔵氏遍照院に庭園を新設し寄贈
昭和 37 年	旭屋デパートが久留米井筒屋として新たに開業する 夏の高校野球で久留米商業高校が準優勝する
昭和 39 年	動物園が廃園し鳥類センターが開園する (東京オリンピック開催、東海道新幹線開通)
昭和 42 年	三潞郡筑邦町・三井郡善導寺町と合併
昭和 43 年	皇太子同妃殿下行啓 耳納スカイラインが完成
昭和 44 年	市民会館落成 (米国アポロ 11 号月面着陸)
昭和 45 年	鳥類センターが中央公園内に移転する 西鉄通り商店街にアーケードが設置される (万国博、大阪で開催)
昭和 46 年	老人の医療無料化が実施される 久留米市公共下水道が供用開始
昭和 47 年	久留米まつり(現在の水の祭典)が始まる 久留米岩田屋が開業する

	(沖縄、米国より返還)
	九州縦貫高速道、鳥栖南関間が開通
昭和 48 年	長門石橋が完成
昭和 49 年	久留米スポーツセンター落成
	全国高等学校総合体育大会を開催 久留米にて開会式・陸上競技・剣道が行われる
	郡山市との姉妹都市締結
昭和 50 年	第 1 回ふるさと農業まつりを開催
	緑花流通センター落成
	市民流水プールが完成
昭和 51 年	総合福祉センター落成
	サンライフ久留米落成
昭和 52 年	広域上水道給水を開始
	(日中平和友好条約調印)
昭和 53 年	市制施行 90 周年記念式典
昭和 54 年	市の木市の花にクルメツツジを選定
	久留米モデル定住圏が正式指定
	中国合肥市と友好都市締結
昭和 55 年	九州安全衛生技術センター、久留米地域職業訓練センターが開設
	テクノポリス基本構想策定地域指定
昭和 56 年	久留米大学病院に救命救急センターが完成
	テクノポリス開発構想策定地域指定
昭和 57 年	筒川排水ポンプ場が完成
	中央公園に「愛の泉」噴水が完成
昭和 58 年	都市再開発ビルが完成
	地場産業振興センターが落成
	草野歴史資料館開館
昭和 59 年	市制 95 周年記念式典
	テクノポリス地域指定
	筑後大ぜきが完成

昭和 60 年	共同福祉施設(文化センター共同ホール)落成 筑後川 101 フェアを開催 テレポート構想策定地域指定 久留米市斎場落成
昭和 61 年	前津江村とふるさと交流協定を締結 集 1 回「愛と平和のコンサート」を開催
昭和 62 年	総合福祉会館落成 情報公開制度が開始 筑後川カヌー艇庫落成
昭和 63 年	勤労者体育施設落成 あけぼの商店街大火